

## ニカラグア：秋の総選挙に向けた動き 前編 2

### サンディニスタ包囲網は狭まりつつある

後編では今年11月7日の総選挙を前に、国が直面している潜在的な問題について見ていくこととする。

2018年のクーデター工作は失敗した。しかしそれは西側政府によるニカラグアの国際的孤立化をもたらした。それは政府レベルだけでなく、人民レベル、左翼運動レベルでも明らかだ。英国と米国の左翼は、少なくともその一部は、サンディニスタへの親近感を完全に放棄した。

しかしそれらの態度表明はサンディニスタの人民による支持にいささかの陰りももたらさなかつた。

11月の選挙に関する最新の世論調査は、それを示している。FSLNを支持する人が約60%、野党が20%弱、残りの20%が未定または棄権という態度が示されている。

2018年のクーデターは失敗した。国内でのFSLNのサポートはさらに強化された。しかし、それは海外でのFSLNのイメージを損なうことには成功したようだ。

いま多くのサンディニスタが懸念するのは、今年の秋、米国の指揮するもう一つの暴力的クーデターが起こるかもしれないということだ。それは2019年にボリビアで起こったことだ。実際すでに、その基礎は築かれつつある。

バイデン大統領は、ニカラグアの経済を不安定化させるためのさらなる制裁を課した。そして米国メディアは、11月の選挙でニカラグア政府の信用を傷つけるための干渉計画を準備しつつある。

制裁は殺人だ。そしてメディアも共犯だ

### ニカラグアへどんな制裁がかけられているか

ニカラグアに対する米国の制裁措置は、2018年のニカラグア投資条件法(NICA)で始まった。

ニカラグア連帯キャンペーン行動グループは、制裁の目的をこうのべている。

米政府は、多国間貸付機関による貸付からニカラグアを切り離そうとしている。その目的は、世界銀行、国際通貨基金(IMF)、米州開発銀行(IADB)、中央アメリカ経済統合銀行(CABEI)などの貸付を止めることだ。

その結果ニカラグアで資金不足を引き起こす。それはニカラグア国内に貧困を、ついで反対意見を誘発することになるだろう。

この法律はまた、ニカラグアの反FSLN系のメディアおよび市民社会グループへの資金提供を保護している。その一方で国内の特定の個人には制裁を課し、ニカラグアから米国への旅行ビザも制限した。

それと同様の措置がベネズエラに対しても導入されている。

### 米英欧トロイカの共同制裁



NATO とメディアの連合軍

当時のトランプ大統領の宣言に続いて、EU もまた、ニカラグアの特定個人に対する資産凍結と旅行禁止を含む制裁を実施した。まもなくイギリスがこれに続いた。

この「専制政治の米英欧トロイカ」を、国連はきびしく非難した。

「パンデミックという状況の中でこのような制裁を課すことはいちじるしく懲罰的で不公正である」

「非同盟運動」(NAM)を構成する国々も同様の声明を発した。

しかし、米英欧トロイカは制裁をやめようとしなかった。彼らはコロナのパンデミックが始まったあとも、ずっと制裁を続けた。そしてニカラグアの財政援助の要請を受け入れなかった。

### 新たな制裁：RENACER 法

米国はさらに制裁を強めた。2021 年の初めにさらに別の制裁法案が提出された。それは明らかに、ニカラグアの不安定化を加速させたいと狙っていた。

それは「ニカラグアの選挙制度改革の遵守の強化」(RENACER 法)と名付けられた。(Renacer はスペイン語で「再生する」の意味。醜悪なレトリックだ)

この法案は、「現在の制裁をさらに強化して、ニカラグアでの自由で公正かつ透明な選挙を確保し、ニカラグアの人々の人権と基本的自由を保護する」という米国のコミットメントを再確認することを目的としている。

制裁がその目的を実現するために、どのような手段を取ろうとしているかは、まったく述べられていない。

RENACER 法は、「米国が他の主権国の選挙を改革する役割を担う」と考える理由についても答えない。

この記事のパート2で取り上げるとおり、ニカラグアは2021年に広範な選挙制度改革を導入した。

それは強力で、透明性のある選挙制度です。それは間違いなく、他の多くの西側諸国よりも民主的である。

制裁は、ニカラグアの主権に対するこのハイブリッド戦争の一つの側面である。

失敗した2018年のクーデターで明らかのように、偽情報は米国の外交政策の不可欠な側面です。

2020年8月、USAIDは「RAIN-ニカラグアでの責任ある援助」という「指令書」を発行した。

「指令」の柱は「ニカラグアが秩序ある市場経済へ移行」するのを支援することである。それは私有財産権の保護を意味する。

そこには次のように書かれている。

.....  
文書は、米国が設置したシステムが、将来ニカラグアの将来の政治体制となるようもとめる。

すなわち、

- ① 軍と警察「制度を再構築」し、「再建」すること。
- ② サンディニスタ戦線を支援する「外郭団体」を解体する。
- ③ そして「移行期の司法措置」を通じてFSLN指導者を追放する。

それは、サンディニスタ運動が今後絶対に政権に復帰しないように、サンディニスタ運動を徹底的に一掃することだ。

ここまで第一部